



挨拶

部活動指導員 糸尾 直記

桜町高等学校バドミントン部部活動指導員のいとおなおきと申します。

昨年度同様、技術指導のみならず、チームや部員の皆さんの課題を共に解決し、共に成長していけるように引き続き精一杯努力して指導にあたる所存です。

どうぞ、皆様のあたたかいご理解とご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

直近大会の主な戦績

【東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅱ部ブロック大会（個人）】

男子シングルス 中村 西ブロック3 2回戦進出

【東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会都予選大会（個人・西東京）】

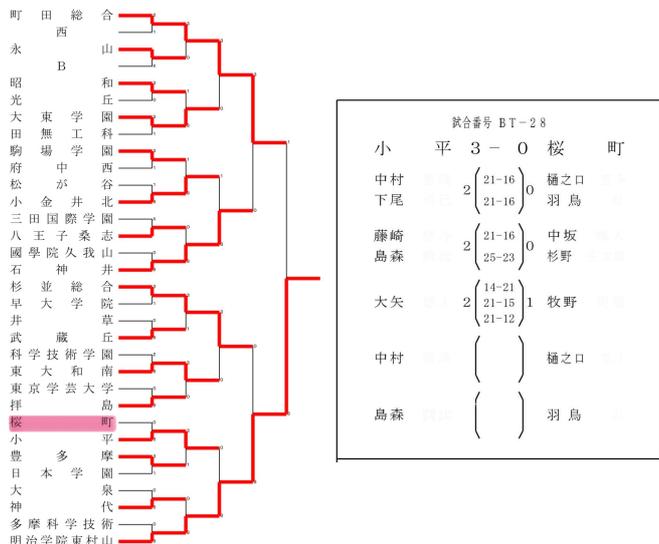
女子シングルス 田中 2組 3回戦進出

女子シングルス 横江 6組 3回戦進出

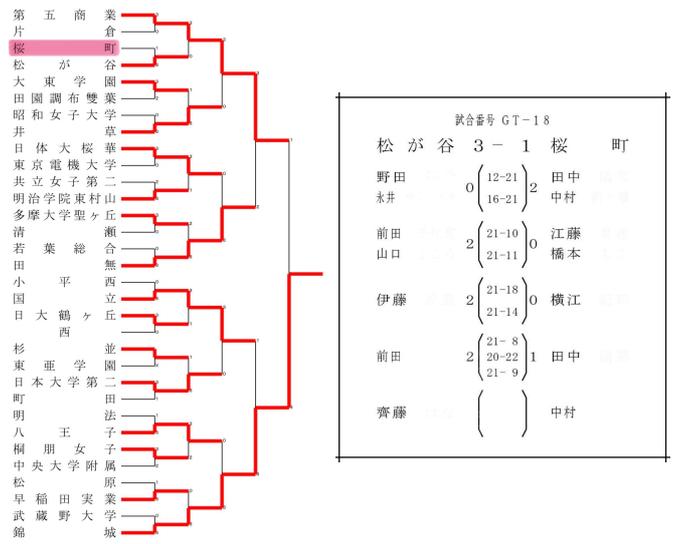
女子ダブルス 中村・田中ペア 4組 4回戦進出

【東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会都予選大会（個人・西東京）】

男子団体結果



女子団体結果



※<http://www.tokyo-hsbad.com/tournament> より該当箇所を抜粋の上、生徒氏名部分を編集して転載しております。

3年生の引退試合となった団体戦は男女ともに、初戦敗退となりました。結果としては大変悔しいものとなりましたが、1ラリー毎に今までの練習の積み重ねが垣間見える試合でした。

今大会を通して、桜町高校バドミントン部はようやくスタートラインに立てたように感じます。横だけでなく縦の繋がりも深まり、本質的にも一つのチームと呼べるようになったのではないのでしょうか。技術向上の根底には、チームのまとまりが必要であり、さらにその根底には全部員が同じ方向性を

もって進むということが必要不可欠です。大会では「仲間のために」「チームのために」といった献身的な姿が3年生から見受けられました。この背中を新チームで忘れることなく、まとまりをさらに強固なものとして、特別な意味合いを持つ場面や大会の時だけではなく、練習のクオリティや姿勢においてポジティブな厳しさのもと切磋琢磨してほしいと思っております。



練習試合を行いました

3月29日 駒場学園高等学校

4月5日 東京都立上水高等学校

各校の生徒の皆さま、教職員の皆さま貴重なお時間をありがとうございました。
練習試合から合同練習まで、お気軽にご相談ください。

新チームが始動しました

去る6月8日、新チーム始動にあたって部内ミーティングを行いました。本ミーティングは、(1)新チームの目標設定、(2) (1)の達成に向けたチームルールの確認、をテーマに意思共有の場として行ったものです。以下は桜町高等学校バドミントン部の本年度のチーム目標をミーティング資料より抜粋したものです。

*チーム目標について

IH予選団体西ブロックベスト16 (3回戦突破、4回戦進出)

冬季ブロック大会団体II部西ブロックベスト16 (ブロック1位→決勝トーナメント1勝以上)

団体戦以外では、各自で長期目標とそれに対する中期(短期目標)を設定します。チームとしては確実に達成できる目標設定と技術を身につけ、夢物語ではないチーム強化と再構築に挑みます。

部活動というのは生徒主体のものであり、一人ひとり望んで参加しているものです。自らの責任と選択のもと、能動的に競技に取り組むバドミントン部として、チームとして成長してほしいと願っています。バドミントンを『楽しむ』ことを第一としつつも、学校の設備を使用して名前を背負っている部活動の意味合いを再認識させ、競技の面白さと、一つの物事を通して繋がることのできる他者との対話を大切にしていきたいと思っております。何とぞご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。